

ボーリング柱状図

調査名 城浜小学校エレベーター設置その他工事地質調査業務委託

事業・工事名

ボーリングNo.

シートNo. 1

ボーリング名	Bx, Na.1 φ63mmノコアボーリング	調査位置	福岡市東区城浜団地31番1号 城浜小学校敷地内	北緯	・	・	・
発注機関	福岡市財務局 アセットマネジメント推進部 施設建設課	調査期間	平成24年11月29日～平成24年11月30日	東経	・	・	・
調査業者名	不二グラウト工業株式会社 電話 092-892-001	主任技師	能美徳次	現代理人	能美徳次	コ鑑定者	能美徳次
ボーリング責任者	栗原欣也	試験機	東邦製 DO-C型	ハンマー	落下用具	ポンプ	東邦製 TP-3型
孔口標高	KBM 0.03m	角	180° 上 下 度	方	0°北 0° 270°西 0°東 180°南	地盤勾配	0°鉛直 0°水平 90°
総掘進長	10.00m	使用機種	エンジン	ヤンマー製 NSF-8型	ポンプ	東邦製 TP-3型	

標尺	標高	層厚	深度	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	記述	粒度試験による土質区分	標準貫入試験				原位置試験		試験採取		室内試験	掘進月日					
												深	10cm毎の打撃回数	打撃回数／貫入量	N値	深	試験名及び結果	深	試験採取方法							
m	m	m	m									m	0	10	20	30	40	50	60	m	m	号	方	法	日	
										中～粗砂主体で、全体に粘性を帯びる。φ2～30mm程度の花崗岩礫を混入した埋土。																
1	-0.97	1.00	1.00		粘土混り砂礫	暗灰				φ5～50mm程度の石灰岩、花崗岩礫を所々混入。φ2～10mm位の礫を多く混入した不均一な砂が薄層状で混入。粘土分が優勢で、貝殻を少量混入した埋土。下部50cm程度の貝殻混じりのシルト質粘土が分布する。	雲母や雲母片が散在	1.15 1.45	3	3	3	9 30	9									
2												2.15 2.45	2	2	2	6 30	6									
3					硬質粘土	暗黒灰				軟らかい中位		4.15 4.45	1	1	1	3 30	3									
4												5.15 5.45	1	5		6 30	6									
5	-5.27	4.30	5.30									6.15 6.39	16	22	12 4	50 24	50以上									
6										上部砂岩が優勢であるが、下部に従い頁岩を層状に挟み、砂質頁岩を主体とする。全体に安定した棒状コアになる。下部の方は砂岩が優勢。	雲母や雲母片が散在	7.15 7.36	22	24	4 1	50 21	50以上									
7												8.15 8.45	13	17	20	50 30	50									
8												9.00 9.12	34	16	2	50 12	50以上									
9												10.00 10.15	31	19	5	50 15	50以上									
10	-9.97	4.70	10.00																							
11																										
12																										
13																										
14																										
15																										

- ・本資料は、工事等により現況と整合しない場合があり、現在の位置関係や地質状況などを特定するものではありません。
- ・本資料は、参考データとして利用し、現在の地質状況は、再度ボーリングを行う等して確認をお願いします。